

## キャリア・スタート・ウィーク終了

今年度、文部科学省の指定を受けて始まった中学生の「キャリア・スタート・ウィーク（5日間連続の職場体験学習）」が、町内64事業所のご協力で、9月実施の薩摩中、1月実施の鶴田中ともに無事終了しました。

各事業所の方々からは、「5日間連続ということに、当初不安もあったが、2・3日の体験よりもよかった。最初は大きな声であいさつできなかったが、最終日には店員よりも大きくなった」など、中学生の頑張りを賞賛する声を多くいただきました。

また、体験した中学生たちの反省から「素晴らしい方に出会った。仕事の厳しさを感じた」と、充実した体験の様子が伝わりました。

実施期間中「職場体験実施中」ののぼりを目にされた方も多かったことでしょう。来年度からも継続して実施予定の「キャリア・スタート・ウィーク」です。多くの事業所の皆様のご協力をよろしく願います。



プラッセだいわで働く鶴田中生徒



そば打ちを体験する子ども達

## 中津川小学校そば打ち体験

2月7日、中津川小学校3・4年生15人が総合的な学習の時間（なかつこの時間）を利用して、尾原活性化センターでそば打ち体験をしました。

使用したそば粉は、自分たちで9月に種をまいて11月に収穫したものを製粉したものです。

そば打ちは、児童の祖父母4人がふるさと先生として指導されました。初めのうちは思うようにできないそば打ちでしたが、少しずつコツをつかみ、なかなかこしのある、おいしいそばが打ちあがりました。

打ちあがったそばは、ふるさと先生が作った昔ながらの味がするつゆにつけ、みんなで食べました。中には5杯食べた児童もいて、とてもいい経験だったようです。

## さつま町学校給食展

2月17日、学校給食の現状について理解を深めてもらおうと、プラッセだいわ宮之城店で、さつま町学校給食展が開催されました。

会場には「丸ごと味わう学校給食週間」の期間に調理された、町内の3センターの特色ある郷土料理などの展示、各学校の給食準備から食べるまでの様子や児童・生徒の図画の展示、食用にされる魚などのフードモデルや実際に給食に使用している物資の展示などが行われました。

訪れた方は、懐かしい学校給食を見学したり、栄養教諭や栄養士、調理員の説明を熱心に聞いていました。



学校給食展の様子

## 景観形成に係る研修会

2月5日、役場本庁東別館で、景観形成に係る研修会が行われました。

講師として招かれた国土交通省九州地方整備局の成松孝見課長補佐は「地域の資源や特性を生かした町民の残したい景観づくりが大切である。また、景観づくりは、観光施策にも有効な手段である」と話されました。

その後、同省九州地方整備局の佐野稔計画・景観係長が、景観法のしくみや景観法活用の手続きフローなどについて説明されました。

さつま町は、平成18年12月1日景観法に基づく「景観行政団体」です。



研修会の様子